



NNA (THAILAND) CO., LTD.

23/61 Sorachai Building 18 Floor, Sukhumvit 63 Road, North Klongtan, Wattana, Bangkok, 10110 Thailand
Tel : 02-392-0475 Fax : 02-392-0479 E-mail : sales_th@nna.asia

MCI(P) 033/03/2018

溶剤再生の大型施設が完工へ タイ最大、サンアップが年内にも

産業廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）コンサルティングなどを手掛けるサンアップ（茨城県つくば市）のタイ法人サンアップ・コーポレーション（タイランド）は、タイの合弁会社を通じて、金属加工や電子部品の製造工程での洗浄などに使う有機溶剤をリサイクルする国内最大規模のプラントを年内にも完工し、試験操業を始める。当初は来年4月頃の稼働を見込んでいたが、コスト削減につながるリサイクル需要が伸びており前倒しする。【京正裕之】



サンアップ・リサイクリングが、タイ東部チャチュンサオ県に建設しているタイ最大の溶剤再生プラントの完成イメージ（同社提供）

タイ最大級の溶剤リサイクルプラントは、サンアップ・コーポレーション（タイランド）が2017年9月に設立した合弁会社サンアップ・リサイクリングが、今年8月に東部チャチュンサオ県のゲートウエーシティー工業団地で着工。両社の最高経営責任者（CEO）を務める杉山淳氏によると、年内に完工して試験操業を始め、来年2～3月にフル稼働を目指している。当初は来年4月頃の操業を見込んでいたが、タイ国内でのリサイクル需要の高まりを受けて前倒しする。

プラントの敷地面積は7ライ（1.12ヘクタール）、処

理能力は月約500トン。再生溶剤の純度99.9%以上を保証する高精度の設備を設ける。総投資額は6億～7億円となる見込み。プラント事業では、顧客の廃液を預かり、有機溶剤と油や塗料などそのほかの物質に分けた後、再生した溶剤を顧客に返却する。顧客側は廃液リサイクルにより、新液の購入費や廃液の産廃処理費を削減できる。

サンアップ・リサイクリングは、工業団地で有機溶剤のリサイクル事業を手掛けるタイ初の企業で、タイ投資委員会（BOI）の優遇措置も取得した。タイ政府が推進する「バイオ・循環型・グリーン（BCG）経済」を実践する企業の1つと言える。

同社には、サンアップ・コーポレーション（タイランド）のほか、タイの溶剤製造カルコ・ケミカル 産業ガス大手のエア・ウォーター傘下のエア・ウォーター・マテリアル（東京都港区）プラントメーカーの日本化学機械製造（大阪市）のタイ法人ニッカキ（タイランド）が出資。機械設備の導入やプラント建設はニッカキが担当している。

杉山氏は「廃液を新液と同じ品質にリサイクルできる装置を持つのは、タイではわれわれだけ。有機溶剤を産廃として焼却処分する従来の方法では二酸化炭素（CO₂）が排出されるが、リサイクルすれば抑制できる」と述べ、リサイクルによるコスト削減と環境配慮の両面でプラス効果があることを強調する。

サンアップ・リサイクリングは建設中の工場以外に、企業の工場敷地内に自社で投資した機械設備を設置し、廃液のリサイクルサービスを提供する「オンサイト・リサイクリング」も手掛けている。同社が従業員も派遣するため、企業側は初期投資なしでコスト削減が図れるという。



サンアップのタイ事業を統括する杉山氏は、コロナ下でのリサイクル需要は伸びていると話す=9月、タイ・バンコク（NNA 撮影）

このほか、サンアップ・コーポレーション（タイランド）は、企業が自社で廃液のリサイクルを行える小型装置を販売。リサイクル装置を購入して再生するほどではないものの廃液が出るというケースでは、サンアップが廃液を買い取って処理し、提携会社のカルコ・ケミカルに販売する仕組みもある。廃液の量に応じて、資源を循環させるビジネスモデルを構築しているのがサンアップの特徴と言える。

エアコンの省エネ事業が好調

杉山氏によると、生産工程で一定量の廃液が出る企業にとっては、リサイクルすることで確実にコストを削減できるため、新型コロナウイルス感染症の影響下でも需要が高まっている。また廃液同様に確実に経費を減らせる取り組みとしては、サンアップ・コーポレーション（タイランド）が昨年に始めたモノのインターネット（IoT）を活用したエアコンの省エネ事業も好調という。

工場などのエアコンの室外機に端末機械を取り付け、コンプレッサーを自動制御して消費電力を抑えるもので、例えば 20%の省エネを図る場合、12 分間エアコンが稼働した後、3 分間自動停止させるという仕組みだ。端末機械からリアルタイムでデータ収集し、電力消費量も確認できる。杉山氏は「2～3 分エアコンを停止しても室温にほぼ変化はないが、省エネ効果は大きい」と話す。

空調機制御システムなどを手掛けるエス・エス・ケイ（東京都港区）の装置を使用しており、タイでは 10 社以上

上が工場のエアコンに導入した。エアコンのコンプレッサーの容量が 10～20 キロワット（kW）程度の場合、初期費用の数十万パーツは 1 年ほどで投資回収ができるという。

また端末機械をサンアップ側が投資し、導入する企業側は削減できた経費（節電金額）の一部を対価として支払う E S C O（エスコ）事業も実施している。エスコ事業は、初期費用なしでコストを削減できるため引き合いが強まっているという。



サンアップ・コーポレーション（タイランド）が提供するエアコンの省エネ事業で使うコンプレッサーを自動制御するためのマルチコントローラー（同社提供）

少数精鋭で「世にメリットある事業を」

サンアップがコロナ禍でも好調を維持している要因について、杉山氏は「コロナあり、なしに関係なく常に商材やパートナー探しをしてきたからだろう」と話す。

同社の従業員は、日本拠点を含めて 10 人程度だが、大手銀行や精密機器メーカー、広告代理店、IT 企業からの転職者が集い、「リサイクルや環境事業といった、世の中にメリットとなることをしたいと考えている」（杉山氏）という。毎月新たなパートナー企業をリストアップする作業を継続しているといい、資本関係はなくても提携する企業が日本とタイで計 100 社を超えた。少数ながら精鋭がそろったサンアップのネットワークは着実に広がっている。

関連記事：【循環型経済】溶剤再生でコスト削減を支援 サンアップ、処理工場も来年建設 < <https://www.nna.jp/news/result/1977896> >

中小企業を支える公的機関の



（公財）東京都中小企業振興公社タイ事務所

●まずは以下のいずれかの方法で、お気軽にお問い合わせください。

無料経営相談をご活用ください！

現地に精通した、経験豊かな相談員が、現地商習慣、法規制、税務・会計、法務に係る相談などに無料で対応します。都外企業やタイ企業にもご利用頂いております。

相談時間 平日 13:00～17:00（祝祭日、年末年始を除く）

相談日程 曜日により相談内容が異なりますのでお問い合わせください。

●無料経営相談以外にも、お気軽にご相談ください。



 **マッチング支援**

 **商談ルーム提供**

 **現地情報提供**

WEBサイト <https://www.topics.tho.tokyo-trade-center.or.jp/jp/contact/>

電話 +66(0)2-611-2641

Eメール thai-branch@tokyo-kosha.or.jp